The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	活動報告　サイバーメディアフォーラム no.3
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2002, 3, p. 53-74
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73115
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

活動報告

○ 教育用計算機システム関係 55
（情報教育システム）
平成 13 年度情報教育システム利用状況 ---------- 55
情報処理教育研究会の開催報告 ---------- 62
授業担当教官への説明会の開催報告 ---------- 66
留学生向け説明会 ---------- 67
日本語予備教育生向け説明会 ---------- 67
伊丹高校からの見学会 ---------- 67
（CALL システム）
CALL システム利用状況(平成 13 年度、平成 14 年度前期) --- 68
CALL 教室公開状況（平成 14 年度前期） ---------- 70

○ 電子図書館システム関係 71
平成 13 年度電子図書館システム利用状況 ---------- 71

○ 平成 13 年度会議関係等日誌 ---------- 73

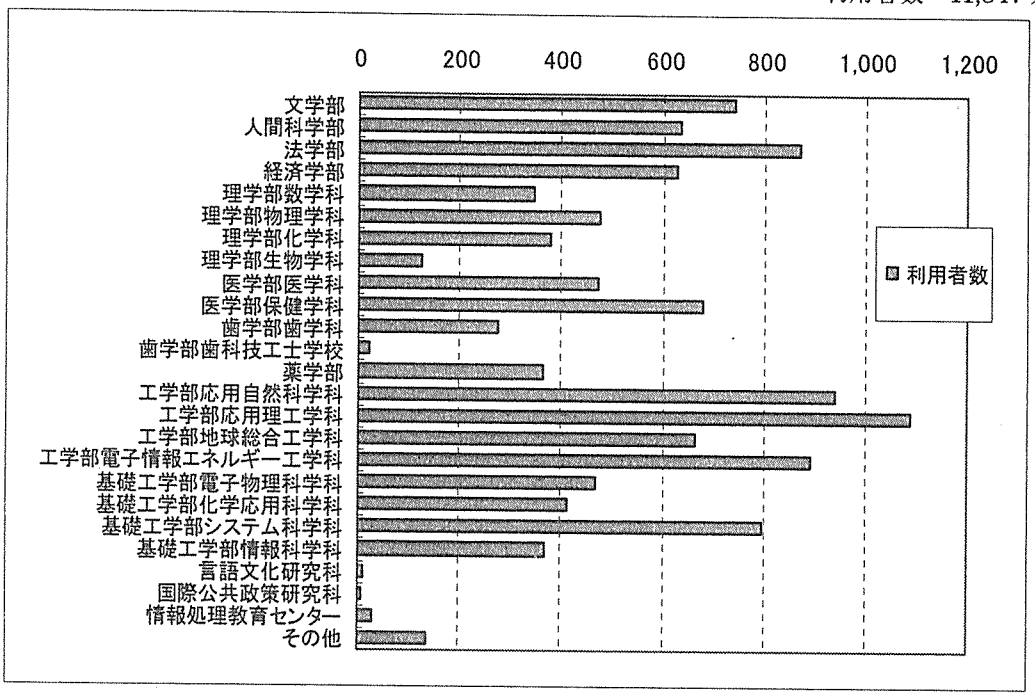
平成13年度情報教育システム利用状況

（平成13年4月1日～平成14年3月31日まで）

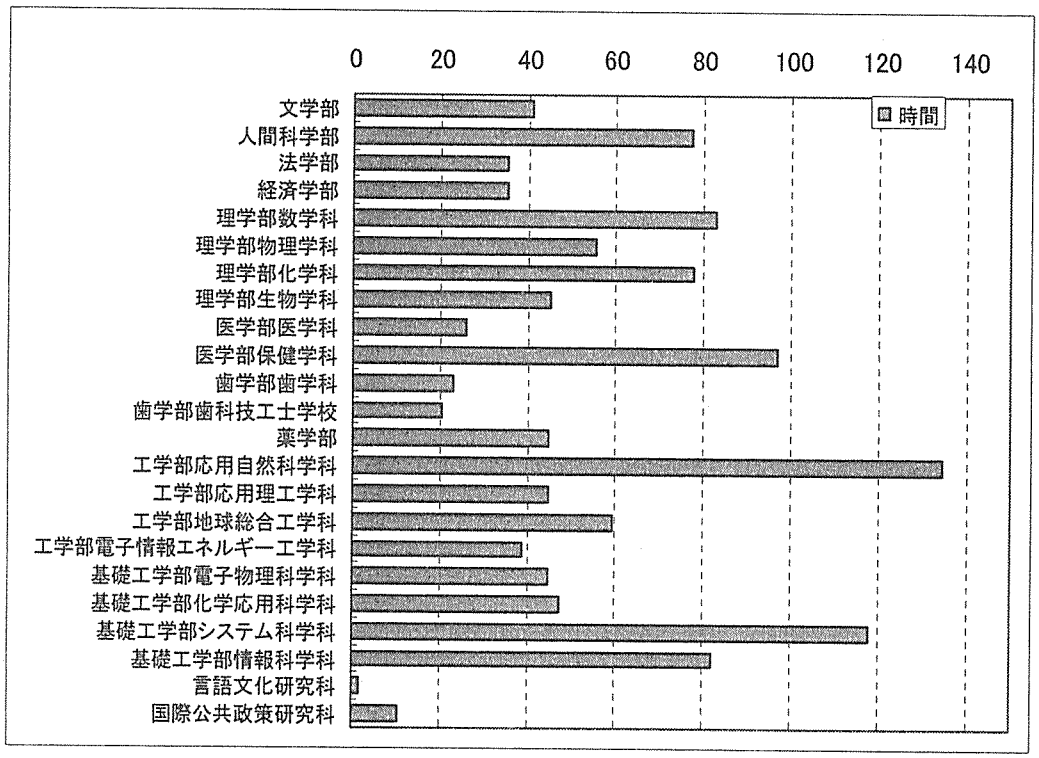
1．所属部局別利用者数

利用者の定義は，1回以上ログインした人（単位：人）

利用者数　11,847人



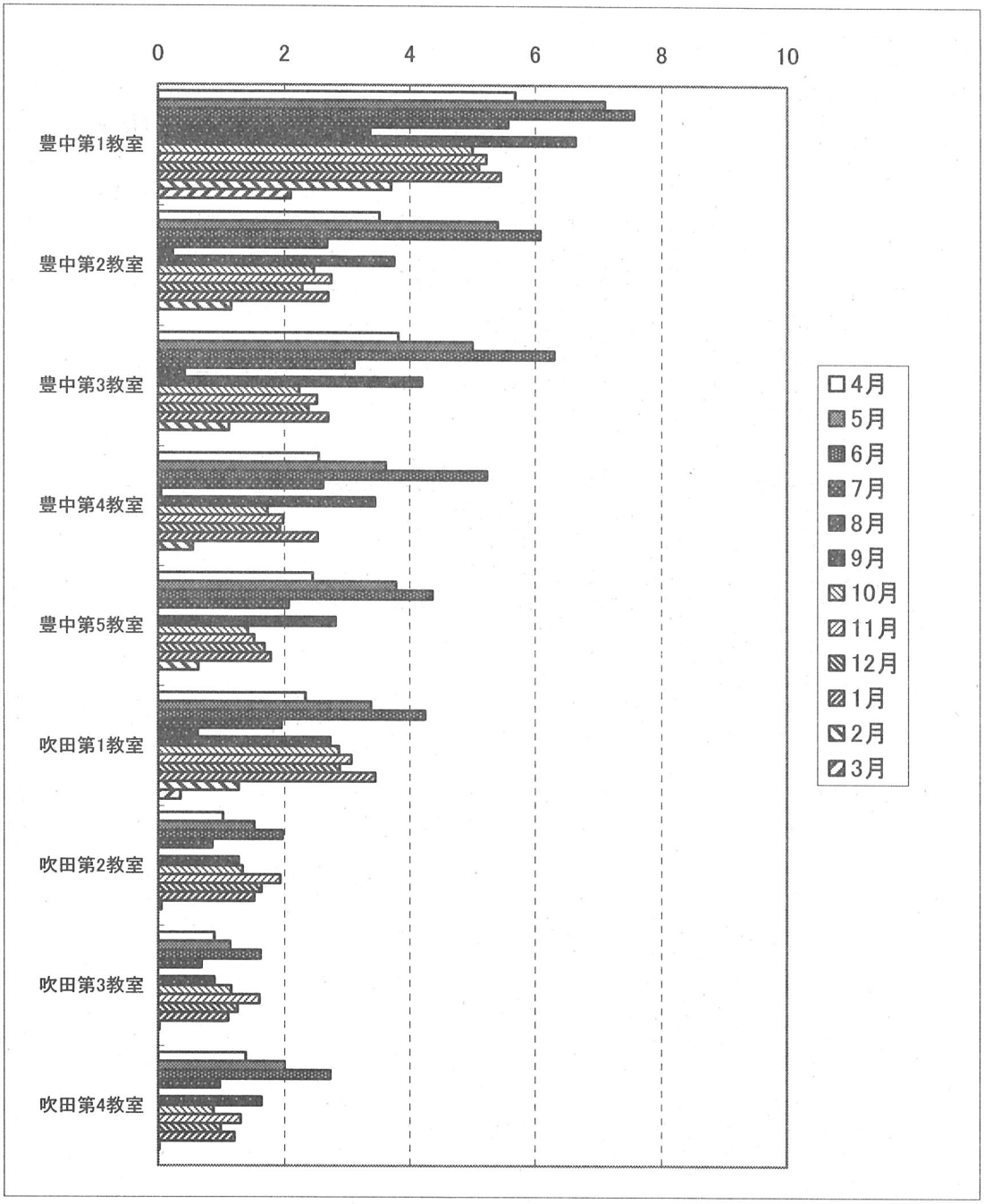
2．所属部局別利用者1人あたりの総利用時間



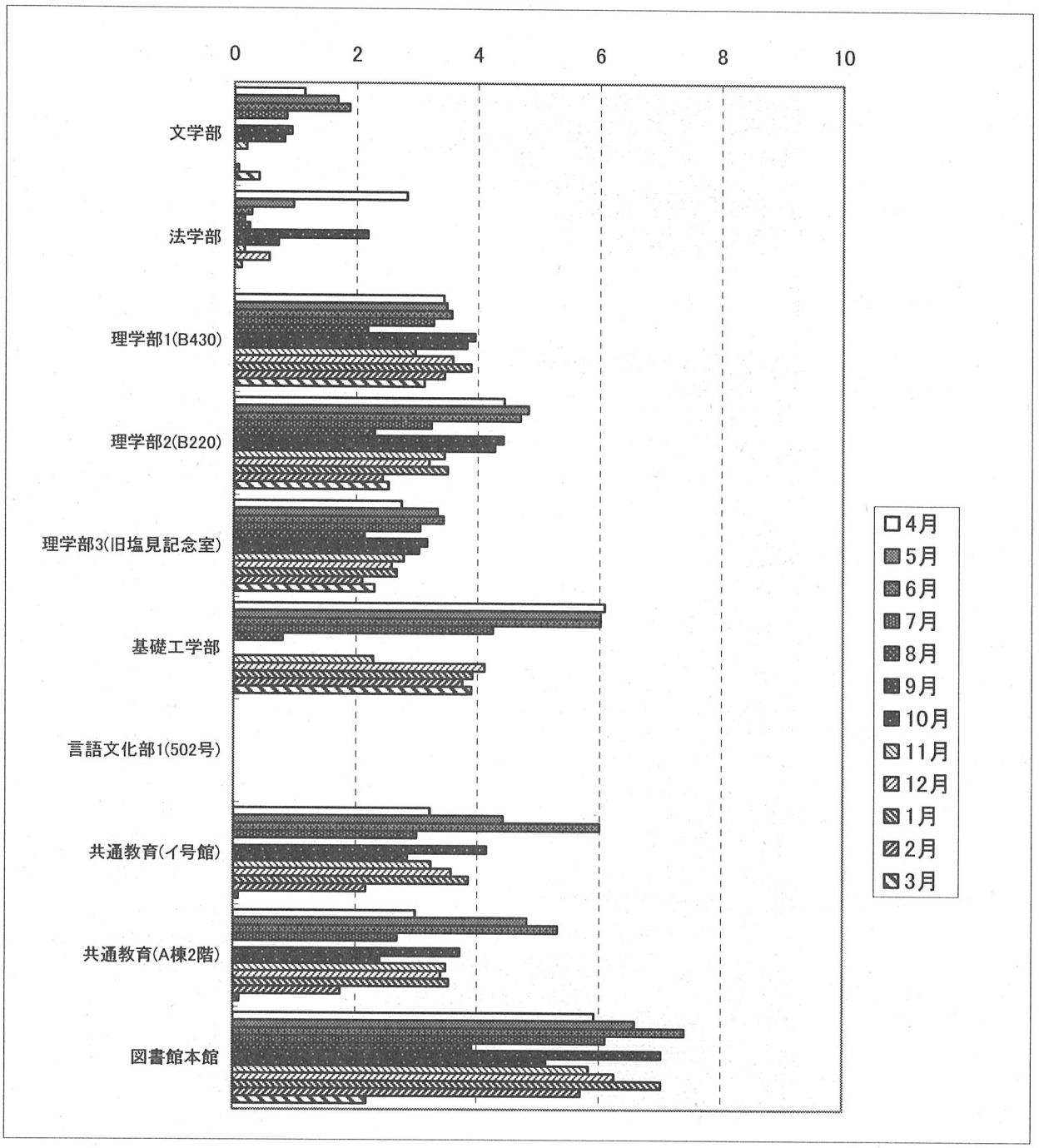
3. 計算機利用率

3.1 計算機室別１日１台あたりの平均利用時間（単位：時間）

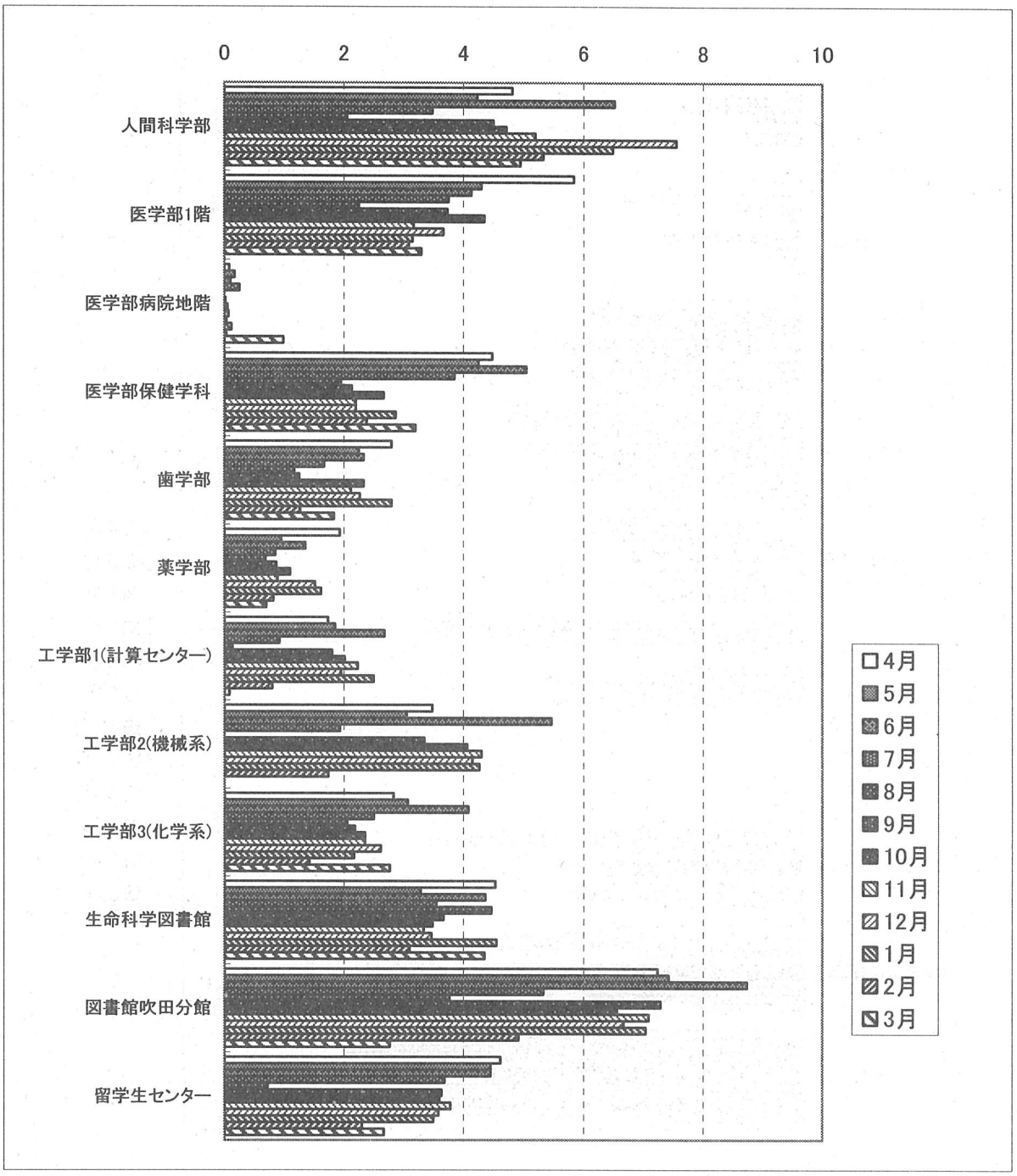
教育実習棟(月～金)　　単位：時間



豊中地区分散端末室(月～金)

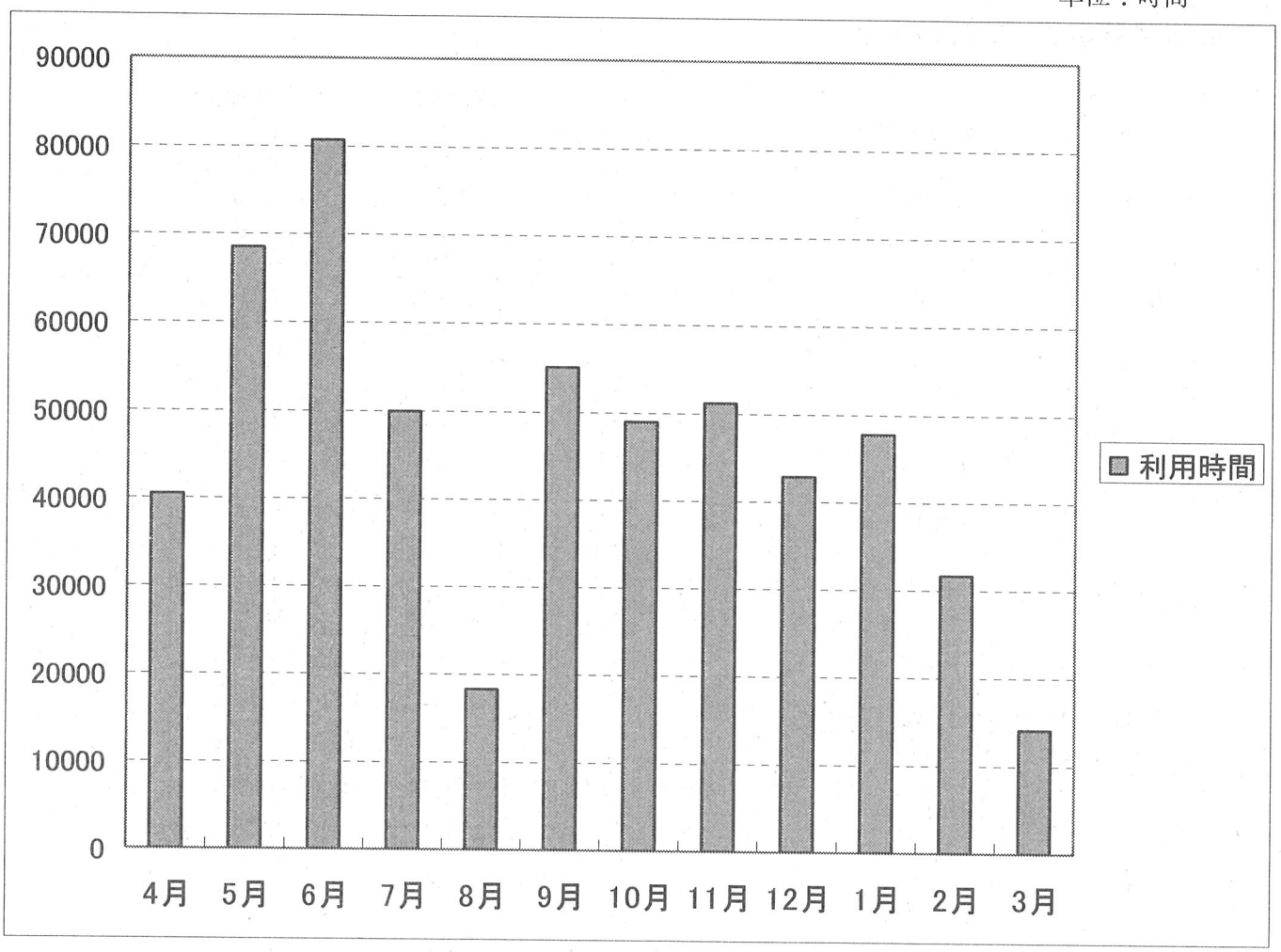


吹田地区分散端末室(月～金)



3.2 総利用時間

単位：時間



総利用時間は 550,035 時間。一人あたりの総平均利用時間は 46 時間となる

3.3 休日 1 日あたりの平均利用者数（単位：人）

(平成 13 年 4 月 1 日から平成 14 年 3 月 31 日までの土・日)

休日運用室	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
豊中第 1 教室	(土)	179	165	176	148	139	177	147	134	133	136	106	106
	(日)	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉
豊中第 2 教室	(土)	0	0	0	0	0	31	0	0	0	10	0	0
	(日)	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉
図書館本館	(土)	156	122	167	83	0	163	131	166	166	195	278	0
	(日)	81	117	151	140	0	168	85	131	55	84	125	0
図書館吹田分館	(土)	16	42	36	28	65	39	27	30	22	47	50	12
	(日)	2	10	21	14	0	23	7	6	10	11	22	0
生命科学図書館	(土)	12	11	15	14	32	15	13	13	10	20	21	5
	(日)	5	9	10	18	11	13	4	4	5	11	13	2

豊中教育実習棟では土曜日に平均約 150 人が利用している

4. プリンタ使用統計

4.1 計算機端末室毎の印刷枚数

場　　所	総印刷枚数	印刷者数	平均印刷枚数
教育実習棟	701,952	7,111	98.7
文学部	334	32	10.4
人間科学部	30,568	429	71.3
法学部	140	9	15.6
理学部	92,060	935	98.5
医学部医学科	2,158	62	34.8
医学部保健学科	7,456	171	43.6
歯学部	620	22	28.2
薬学部	763	51	15
工学部	29,863	856	34.9
基礎工学部	1,191	143	8.3
言語文化部	0	0	0
共通教育棟	229	44	5.2
留学生センター	2,715	75	36.2
管理用	5,430	40	135.8
合　　計	875,479	9,980	87.7

4.2 利用者所属部局別毎の印刷枚数

所　　属	総印刷枚数	印刷者数	平均印刷枚数
文学部	39,801	554	71.8
人間科学部	66,336	515	128.8
法学部	52,088	606	86
経済学部	26,666	334	79.8
理学部	123,232	975	126.4
医学部医学科	13,829	179	77.3
医学部保健学科	25,711	419	61.4
歯学部	8,801	124	71
薬学部	9,660	237	40.8
工学部	171,160	2,151	79.6
基礎工学部	219,564	1,608	136.5
言語文化研究科	14	2	7
国際公共政策研究科	0	0	0
その他	10,419	92	113.2
管理用	108,198	54	2,003.7
合　　計	875,479	7,850	111.5

5. 電子メール

(a) 送信メール数（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
文学部	1390	2014	1905	1609	494	1435	1221	846	748	809	692	346
人間科学部	2277	2662	3743	2050	603	1683	1335	2161	2122	2102	1008	310
法学部	1732	4910	3271	1495	712	2456	1663	1439	949	1054	770	367
経済学部	712	897	838	369	132	388	571	353	364	302	150	68
理学部	2682	4705	4890	4004	1728	3817	2916	2735	1904	2267	2106	912
医学部	1119	1291	808	587	243	364	392	326	308	261	309	178
医学部保健学科	2132	2268	1437	921	345	709	698	637	491	629	433	244
歯学部	555	738	519	386	54	230	172	137	138	182	93	92
薬学部	841	634	367	179	33	553	448	316	419	304	146	62
工学部	6542	8244	9719	5298	1042	4948	4024	3866	2786	3397	2196	680
基礎工学部	5478	7894	7460	4226	1143	5092	4740	4246	4195	3932	2945	725
言語文化研究科	22	5	8	9	3	4	4	11	2	9	1	1
国際公共政策研究科	0	44	16	2	1	21	0	0	0	0	0	0

(b) 送信ユーザ数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
文学部	341	340	306	292	98	289	201	176	159	171	154	84
人間科学部	357	354	386	305	136	275	236	280	268	270	206	72
法学部	257	451	417	282	136	391	250	235	199	223	145	84
経済学部	124	138	134	95	29	79	84	80	68	61	44	15
理学部	475	636	584	508	196	501	430	417	357	349	350	200
医学部	200	186	140	112	64	97	86	80	72	75	86	41
医学部保健学科	339	324	242	173	100	157	165	134	121	136	100	51
歯学部	98	99	73	70	18	49	42	39	38	39	33	23
薬学部	133	120	97	71	13	116	123	101	111	83	25	14
工学部	1197	1381	1472	1146	249	1030	897	859	686	768	485	151
基礎工学部	943	1019	1015	820	274	768	794	689	746	702	704	191
言語文化研究科	4	2	3	2	1	2	3	3	2	4	1	1
国際公共政策研究科	0	4	4	2	1	4	0	0	0	0	0	0

(c) 送信バイト数（単位：KByte）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
文学部	1819	708.2	751.8	1133.6	360.54	800	810.7	884.7	304.4	5092	543.7	550.9
人間科学部	13056	6004	7656	4163.6	471.37	1644	1446	4212	4695	30040	2948	648.5
法学部	944.1	1773	1559	942.33	527.85	1399	799	1585	2123	2494	1386	885.2
経済学部	658.7	503.4	3044	618.63	39.536	1717	2405	72.34	985	819.6	896.4	17.02
理学部	5914	11603	21694	105411	166816	95117	29223	4972	3140	12845	7174	5530
医学部	1484	1718	3310	1891.2	895.24	158.9	351.4	321	811.6	613.9	742.2	645.6
医学部保健学科	492	1519	900.7	1070.4	349.19	552.9	627.5	375.7	875.1	1110	1855	433.4
歯学部	420.9	561	2916	1143.3	39.092	1123	601.2	270.8	130.5	304.1	28.55	19.7
薬学部	137.4	788.1	192.5	67.274	49.679	205.4	321.5	640.1	660.2	182.7	145.8	14.57
工学部	11753	30981	25515	29946	18522	19645	15709	18831	17803	12947	5801	2119
基礎工学部	18724	32174	18213	11094	2990.2	10613	13820	12627	10018	9091	7743	2201
言語文化研究科	2.596	1.294	1.067	4.3618	0.1849	0.366	0.759	2.873	0.166	2.178	0.195	0.071
国際公共政策研究科	0	9.026	1.829	0.3824	2.2288	4.495	0	0	0	0	0	0

情報処理教育研究会の開催報告

情報処理教育研究会 (第 19 回)

日時 平成 13 年 12 月 10 日 (月) 14:00〜16:30

場所 サイバーメディアセンター豊中教育実習棟 第二教室

プログラム

1. 「Pov-Ray による CG 基礎教育の試み」(基礎工学研究科 才脇直樹先生)
2. 「蛋白質立体構造表示プログラム (Cn3D) について」(サイバーメディアセンター　時田恵一郎先生)
3. 「ディジタル回路設計 CAD ツールの紹介」(サイバーメディアセンター　北道淳司先生)

参加者 11 名

Pov-Ray による CG 基礎教育の試み

概要

最近、CG (Computer Graphics) の作成がソフト・ハードの普及で身近になりつつある。一見遊びのようにも見えるが、楽しみながらプログラミングを体験できるという意味で、センターの Linux 環境にインストールされている Pov-Ray などは学習課題としても魅力的である。特論の授業の一環として、Pov-Ray を用いたコンテストを実施したので、この実践報告を行う。

最初に Pov-Ray について、シーン記述言語を使うこと (モデラー併用も可能)、ボランティアベースで開発されていて、Windows, Unix, OS/2, Mac 等のプラットフォームで稼働することなどの解説がありました。授業は基礎工学部システム科学科の 2 年生を対象として、7 回でプログラミングと CG の基礎を教えるもので、実習として Pov-Ray をとりあげ、文法解説+例題学習 (30-50min)、CG 知識の概念 (20min)、作品提出 (その日の知識に対応する分) という手順で行われました。9 割の学生から「抽象的なプログラミングより楽しい」という評価を受けているそうです。また、可視化されるので、コピーの防止、競争心をかき立てるなどの効果もありました。コンテストでは、技術的、芸術的、など複数観点から審査できるように工夫されています。作品は、次のページで見ることができます (`http://www-nishilab.sys.es.osaka-u.ac.jp/contest/contest.html`)。

さらに、「サイバーメディアセンター内に完成作品を掲示したい」という要望に対しては、学生に許可をもらえばぜひそのようにしたいとのご返事でした。その他、理系対象なら Maya や OpenGL 等が良いのではないか、モデラーを利用すれば文系学生への教育にも使えるのではないか、資格試験 (CG 検定・マルチメディア検定) を参考に客観的な評価ができるようにしたい、等の意見がありました。

蛋白質立体構造表示プログラム (Cn3D) について

概要

全学共通教育の情報処理教育科目「情報探索入門」(1 年生対象) で、理学・工学情報データベースとして、Web of Science、Citation Index、および分子生物学立体構造データベースと Cn3D について講義・実習を行った。研究会では、立体構造表示プログラムについてレビューし、講義・実習の様子も報告する。

最初に分子生物学のデータベース (PDB, Entrez, MMDB など) の簡単な紹介があり、タンパク質などの立体構造を表示するプログラム (Cn3D) について説明されました。Web of Science は有償データベースなので、授業で検索する際には、教育目的ということでその時間帯だけ同時アクセス数やアクセスデータベースの制約を外してもらったそうです。授業内容は、Citation Index を用いて「20 世紀の偉大な論文について調べよ」、データベースを探索して「狂牛病の病原体について調べよ」など。内容的に一年生を相手にするのは苦労するとのことでした。

ディジタル回路設計 CAD ツールの紹介

概要

ディジタル回路の設計に用いる CAD ツールは、企業における開発に用いられることが中心で極めて高価であり、大学での教育研究に用いることは困難であった。最近は、アカデミックプログラムの提供、ツールの無料配布、VDEC(東京大学大規模集積システム設計教育センタ) での CAD ツールのライセンス配布などが行われるようになり、大学教育への導入も容易になりつつある。研究会では、これらのツールについていくつか事例も含めて紹介する。

最初に、近年の状況として、HDL(Hardware Description Language) を用いた設計 (VHDL, VerilogHDL) が中心であるなどの解説がありました。実際の授業では、基礎工学部情報科学科で 2 学期の「実験 A」(の後半) では CAD を教えて PLD を使わせ、3 年の 2 学期の「実験 C」では、Altera 社の CAD で FPGA を使ってコンピュータを作る実験をさせています。そこでは、PC 上でシュミレーションによりデバッグをして、FPGA を載せた実験用ボードへのダウンロードは最後の一回で行います。このほか、VDEC(東大大規模集積システム設計教育センター) を利用して ASIC を作成する (チップ試作は、CMOS 0.35um, 5mm 角, 10 個で 35 万円) ことなどの紹介がありました。

情報処理教育研究会 (第 20 回)

日時 平成 14 年 3 月 11 日 (水) 13:30〜17:00

場所 サイバーメディアセンター豊中教育実習棟 第二教室

プログラム

1. 「WebCT の現状と高等教育用情報基盤の今後」(名古屋大学情報メディア教育センター 梶田 将司先生)
2. 「Maple 7 新機能・概要ご紹介」(サイバネットシステム (株) 小城 洋子氏)
3. 「Vine Linux - Past, Present and Future」(レッドハット (株)・Project Vine 武井 和久氏)

情報教育システムを使った授業を行っていく上で、次年度から活用していくことになる、WebCT,

Maple, Vine Linux のそれぞれについて、それぞれの専門家の方に講演して頂き、活発な議論がされました。

WebCT の現状と高等教育用情報基盤の今後

概要

アメリカ合衆国・カナダの高等教育機関において利用が広がっている WebCT は、遠隔教育用の WBT(Web Based Training) システムとして利用されているだけでなく、オンキャンパス教育の中心である通常の講義において、講義時間外の学習環境を学生に提供するための e-Learning プラットフォームとしても利用されている。WebCT の北米での現状、名古屋大学における日本語化状況、及び、IMS/SCORM による標準化動向などの内容に関して紹介する。

情報教育システムを使って授業を進めていく上で、各先生方がそれぞれ独自に工夫をしながら教材を作っている現状から、非常に興味の高い話題であり、非常に議論が白熱しました。

授業において、資料を作ってもなかなか学生が読んでくれない面に対して WebCT はその特効薬になるのか、また、学習フローを制御するという仕組みを容易に実現できるのか、WebCT という新しいシステムを使うことにするための先生側の敷居の越え方など、活発に議論がなされました。

WebCT は非常に高機能であり、資料提供だけでなく、掲示版やオンライン試験などが行なえますが、単に今までの授業用の資料を電子化する、というだけではなく、自学自習を考えた新たなコンテンツとして作成していく必要性や、インストラクシャナル・デザイン、という考え方、その資料を調べることで何が出来るのか、ということを明確にできるようなコンテンツが求められるのだ、という指摘がありました。また、そのようになってくると、学生へのサービスが過剰になり学生の自助努力に対する妨げになりかねないのではないか、という意見には、あくまで、ベースとなる知識習得を向上させることに WebCT を使っていけばよく、それをベースにした、より深い知識習得への自助努力がなされれば良いだろう、という指摘がありました。さらに、高機能過ぎるが、教官側がどう使っていくのが良いのかに関しての指針がないのか、という点に関しては、まだ妙案がなく、まだまだ試行錯誤を繰り返す必要があるだろう、ということでした。

平成 14 年度から、情報教育システムにおいて WebCT が積極的に使われることを期待しています。

Maple 7 新機能・概要ご紹介

概要

数式処理や数値解析だけではなく、WEB コンテンツや、プログラミング機能、またワークシート環境など多種多様様な機能をご紹介する。最新版 Maple7 では、単位変換機能や、Math ML2.0、XML サポート、TCP/IP ソケットなどが追加され、マルチ環境への対応も可能となっている。

情報教育システムには、以前よりウルフラム社の Mathematica という数式処理アプリケーションが導入されていましたが、平成 14 年度から、Maple も同様に使えるようになりました。

議論は、はやり Mathematica との違いに集まりました。オープンアーキテクチャであること、細かい操作性の良さ、ある種の微分方程式処理の回答正答率ベンチマークの差などが挙げられました。さらに Maple では、infolevel というツールにより、導出過程まで見ることが出来ることから、単なる数式処理ツールとしてだけではなく、教育教材としても使うことが出来る可能性が示

されました。

Mathematica 同様、サイバーメディアセンターでキャンパスライセンスを取得していますので、適材適所で利用されていくことを期待します。

Vine Linux - Past, Present and Future

概要

Vine Linux の紹介、 Desktop 環境と Vine Linux、大学での計算機環境と Linux (オープンソースの教育性)、アカデミー向けカスタムディストリビューションなどについて紹介する。

情報教育システムは、平成 13 年度までは TurboLinux 6.0 を利用していましたが、日本語環境の充実と、ベースとなるカーネルやライブラリのバージョンの古さなどを理由に、メジャーバージョンアップを行い、その際に、ディストリビューションとして VineLinux 2.1.5 を選択しました。

議論は、このバージョンアップによる今までの不具合がどの程度解消されることになるのか、ということに集中しました。Netscape, gEdit, Xwnmo などの主要アプリケーションの不具合に関しては、ある程度の改善は見られるが、本質的に手が入れられないアプリケーションは仕方ないこと、日本語化の度合として、どこまでコンピュータ利用初心者でも分かりやすく使えるのか、といった質問が出されました。VineLinux は、日本人のための日本語ディストリビューションを目指していることもあり、日本語化の度合は、コンピュータに詳しい人から見れば、過剰とも言える部分もありますが、本学のように文系から理系まで、幅広いユーザ層を考えれば、そのような部分はありがたい部分になるだろう、とも言えます。また、以前のシステムである、NeXT の出来との比較、特に User Interface の部分の問題に関する言及もあり、VineLinux というディストリビューションとしてのポリシがあるといいのに、という意見がありました。

平成 14 年度から、VineLinux で稼働を開始していますが、少しでも不具合が解消されて、使いやすいシステムになることを期待します。

情報メディア教育研究部門　桝田　秀夫

授業担当教官への説明会の開催報告

(1) 2学期授業担当教官に対する情報教育システム利用説明会

日　時　平成13年9月18日 13:00 ～ 16:00（豊中地区）
　　19日 13:00 ～ 16:00（吹田地区）
場　所　サイバーメディアセンター豊中教育実習棟 第三教室
　　吹田教育実習棟 第四教室
講　師　サイバーメディアセンター情報メディア教育研究部門 各教官
参加者　14名（豊中10名、吹田4名）
概　要

情報教育用計算機システムを用いて授業を行う教官のために、以下のシステム上のアプリケーションおよび授業支援システムの説明を行った。

・ログイン・ログアウト、パスワード変更手順
・デスクトップマネージャ(GNOME)
・ファイルマネージャ(GMC)
・かな漢字変換(Wnn7)
・ワープロ／表計算などオフィスソフト(Applixware 日本語版)
・WWWブラウザ(Netscape Navigator)
・電子メール(Sylpheed)
・プログラミング言語(C, C++, Pascal, Fortran77, Java)
・数式処理(Mathematica)
・統計処理(SAS)
・PDFブラウザ(Acrobat Reader)
・外部メディアの取り扱いについて

(2) 1学期授業担当教官に対する情報教育システム利用説明会

日　時　平成14年4月4日 13:00 ～ 16:00（豊中地区）
　　5日 13:00 ～ 16:00（吹田地区）
場　所　サイバーメディアセンター豊中教育実習棟 第二教室
　　吹田教育実習棟 第一教室
講　師　サイバーメディアセンター情報メディア教育研究部門 各教官
　　応用情報システム研究部門 春本要講師
参加者　66名（豊中30名、吹田36名）
概　要

情報教育用計算機システムを用いて授業を行う教官のために、平成13年9月と同様、システム上のアプリケーションおよび授業支援システムの説明を行った。また今回の説明会では、OSの変更(TurboLinux からVineLinux)に関する説明、統一アカウントおよびポータルシステムに関する説明も実施した。

(3) WebCTの利用説明会

日　時　平成14年4月25日 13:00 ～ 16:00
　　26日 13:00 ～ 16:00
場　所　25日 基礎工学部国際棟1階セミナー室Ⅰ
　　26日 基礎工学部B棟2階205,206号室
講　師　WebCT販売代理店CSK, エミット社
参加者　8名
概　要

新しい授業支援システムであるWebCT(Web Cource Tools)の説明会を希望者を募り行った。新規に導入したシステムであるため、まず WebCT の紹介とその機能について説明を行った。実際の講習は実習形式で、受講者はWebCTの講師が出題する課題をPC上で作成した。

留学生向け説明会

日時 平成13年9月27日(木) 11:00～12:00

場所 サイバーメディアセンター豊中データステーション 第五教室

講師 中村助手、近藤助手

概要

留学生向けに、情報教育システムを利用して貰う上での注意事項、ログイン、ログアウト、パスワード変更、Web、メール、主要なアプリケーションの簡単な説明などを行い、また、誓約書も書いてもらいました。近年、パソコンに詳しい学生がどんどん増えてきていることもあり、自分でプログラムをコンパイルしている人もいました。自分の母国とインターネット経由でメールのやりとりをしたり、必要な情報をWebから取得したりすることに大いに活用されているようです。

日本語予備教育生向け説明会

日時 平成13年10月17日(水) 14:40～16:20

場所 サイバーメディアセンター吹田教育実習棟 第一教室

講師 北道講師、大崎助手

概要

次年度から本学の学部生になる留学生向けに、情報教育システムを利用して貰う上での注意事項、ログイン、ログアウト、パスワード変更、Web、メール、主要なアプリケーションの簡単な説明などを行いました。

伊丹高校からの見学会

日時 平成13年11月6日(火) 9:30～11:45

場所 サイバーメディアセンター吹田教育実習棟 第一教室

講師 中西助教授、近藤助手

参加者 18名

概要

伊丹北高校から、進路校外学習として18名の生徒が大阪大学を訪れましたが、その一環として、情報教育システムを使って、数学的なシミュレーションの体験をして貰いました。

課題としては、"Wolfram's Cellular Automaton Rule 0-255" [1] というものを用意し、いろいろな初期値やルールを与えてシミュレーションを行う Java Applet を動かしてみる、というものを用意しました。数値のちょっとした違いで様々な動きになることに、非常に興味を持って貰えたと思います。

[1] S. Wolfram, Cellular Autoamta and Complexity, Addison Wesley, 1994.

CALL システム利用状況

平成13年度 端末使用時間(分)　　合計 1,687,680 分

315教室

	A列	B列	C列	D列	E列	F列	
1	18,240	16,190	19,370	17,620	16,350	16,690	
2	20,690	15,410	19,050	17,420	15,950	14,930	
3	16,340	17,860	17,730	16,070	18,930	17,000	
4	16,870	15,190	20,150	17,830	17,450	16,910	
5	17,380	19,170	20,840	20,990	17,170	19,560	
6	15,700	16,050	20,910	20,250	18,110	19,530	
7	16,010	16,040	18,880	17,290	17,710	17,000	
8	14,130	14,280	17,070	18,080	19,010	17,130	
9			17,660	18,500	18,730	17,230	
10			17,360	18,660	15,990	18,290	小 計
計	135,360	130,190	189,020	182,710	175,400	174,270	986,950

304教室

	A列	B列	C列	D列	E列	F列	G列	H列	
1	12,370	10,240	12,850	9,500	10,020	10,100	9,700	9,140	
2	13,960	12,880	14,340	13,740	11,600	11,840	13,290	13,320	
3	13,190	13,240	12,300	12,700	12,910	12,790	12,720	11,880	
4	12,760	12,430	12,310	12,260	11,840	13,420	12,070	12,520	
5	12,100	12,820	13,260	13,420	13,020	13,040	12,820	12,720	
6	11,890	10,550	12,410	11,910	11,400	10,900	10,780	12,740	
7			10,700	11,780	11,460	12,070	10,860	11,780	
8					12,000	12,100	11,400	10,570	小 計
計	76,270	72,160	88,170	85,310	94,250	96,260	93,640	94,670	700,730

平成14年度 端末使用時間(分) (4月1日～7月31日)　　合計 1,230,288 分

315教室

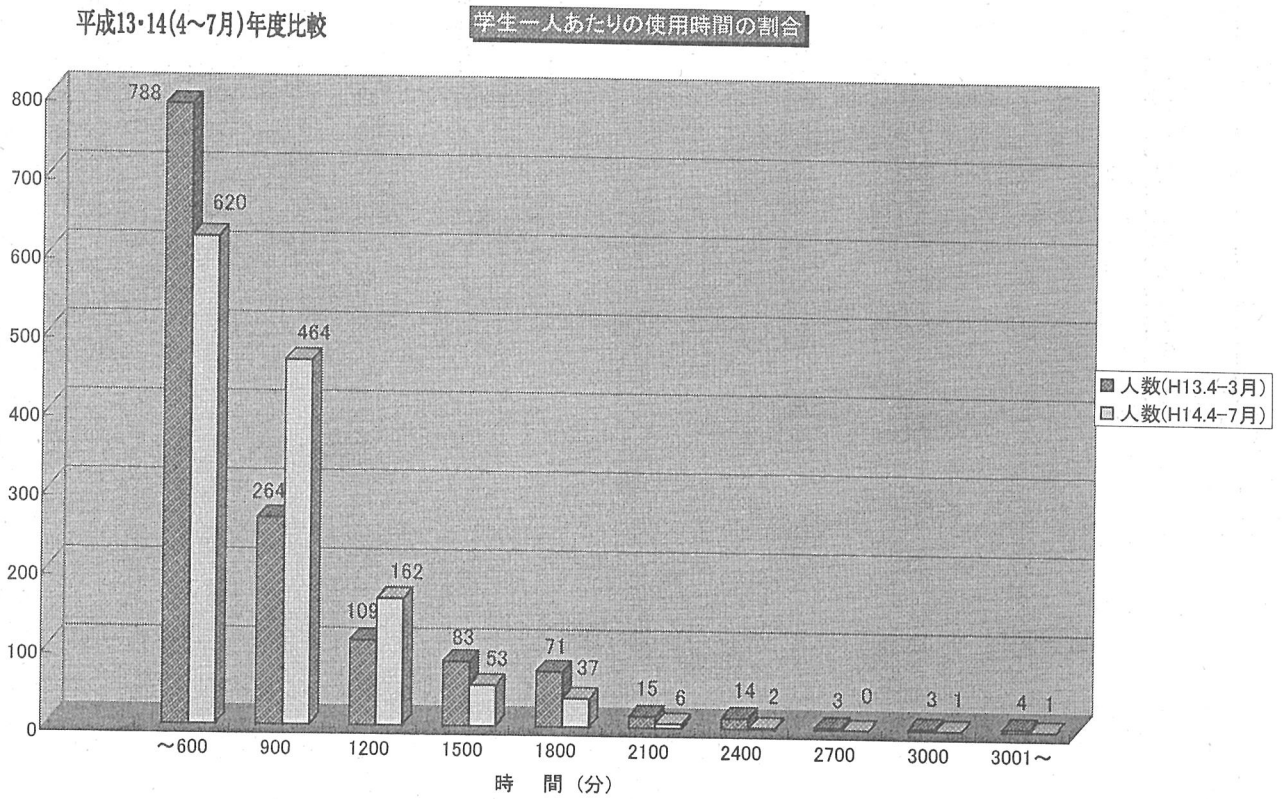
	A列	B列	C列	D列	E列	F列	
1	12,107	13,313	14,333	14,392	13,551	10,788	
2	13,236	13,190	14,149	13,533	14,972	11,824	
3	9,445	11,443	12,425	13,996	13,725	12,040	
4	9,124	12,991	14,393	14,305	12,343	11,052	
5	10,472	12,882	13,773	14,322	13,031	9,851	
6	9,134	12,242	14,680	14,787	13,133	9,206	
7	9,735	12,792	13,192	12,154	9,833	8,548	
8	8,899	10,817	10,160	10,538	9,804	7,598	
9			9,341	9,257	9,044	7,830	
10			10,224	8,385	9,561	7,649	小 計
計	82,152	99,670	126,670	125,669	118,997	96,386	649,544

304教室

	A列	B列	C列	D列	E列	F列	G列	H列	
1	10,117	8,354	7,730	9,380	8,100	6,693	9,299	7,565	
2	10,161	11,773	12,215	9,479	10,446	11,590	10,870	10,944	
3	10,774	10,567	11,312	12,853	12,682	9,612	10,369	8,477	
4	11,073	10,428	10,742	12,043	10,619	11,015	11,223	9,165	
5	9,560	10,345	10,731	10,327	11,320	12,350	10,659	9,667	
6	10,679	9,707	11,105	11,244	11,093	11,545	9,822	9,470	
7			5,479	8,746	10,410	8,911	8,139	9,848	
8					8,893	7,729	8,955	6,340	小 計
計	62,364	61,174	69,314	74,072	83,563	79,445	79,336	71,476	580,744

学部学科別使用時間

学部・学科	平成13年度			平成14年度（4月1日～7月31日まで）		
	人数	時間（分）	平均時間	人数	時間（分）	平均時間
文学部	91	31,590	347	162	82,172	507
人間科学部	72	14,590	202	105	58,358	555
法学部	182	136,160	748	140	84,675	604
経済学部経済・経営学科	211	128,660	609	190	154,323	812
理学部物理科学科	51	25,540	500	26	12,542	482
数学科	32	20,690	646	22	11,797	536
化学科	25	10,300	412	28	15,069	538
生物学科	7	5,530	790	8	3,197	399
医学部医学科	45	27,060	601	61	36,370	596
保健学科看護学専攻	41	28,520	695	66	41,764	632
保健学科放射線技術科学専攻	44	26,370	599	60	48,152	802
保健学科検査技術科学専攻	26	13,060	502	64	49,673	776
歯学部	53	20,220	381	49	37,001	755
薬学部総合薬学科	118	95,770	811	68	38,327	563
工学部応用理工学科	65	52,040	800	42	24,239	577
応用自然科学科	54	38,000	703	8	3,057	382
電子情報エネルギー工学科	70	14,920	213	11	2,652	241
地球総合工学科	6	690	115	60	39,527	658
基礎工学部システム科学科	116	88,750	765	76	44,653	587
化学応用科学科	45	45,140	1,003	32	20,474	639
情報科学学科				45	26,045	578
電子物理学科				23	4,765	207
計	1,354	823,600	608	1,346	838,832	623



平成 14 年度前期 CALL 教室公開状況

総延べ人数(最大値の合計)　1,909 名
公開日数　63 日

平成13年4月(公開日数13日、述べ人数　合計227)

日	確認時間 17:00	18:00	19:00	合計
12	7	5	3	15
15	4	7	6	17
16	–	2	2	4
17	13	7	8	28
18	9	9	0	18
19	10	12	8	30
22	13	11	8	32
23	–	2	3	5
24	12	9	7	28
25	6	8	6	20
26	8	6	5	19
合計	82	78	56	216

日	確認時間 12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	合計
29	1	0	0	0	0	1
30	2	3	2	2	1	10
合計	3	3	2	2	1	11

注意：4月29日、30日は臨時公開のため、集計が異なります。

平成13年5月(公開日数19日、述べ人数　合計602)

日	確認時間 17:00	18:00	19:00	合計
7	–	4	5	9
8	12	9	8	29
9	8	11	7	26
10	4	8	6	18
13	24	17	9	50
14	–	4	6	10
15	8	8	6	22
16	6	7	7	20
17	19	17	11	47
20	14	13	10	37
21	–	7	5	12
22	13	18	11	42
23	13	16	10	39
24	18	15	10	43
27	14	12	11	37
28	–	6	9	15
29	24	22	23	69
30	12	15	10	37
31	8	18	14	40
合計	197	227	178	602

平成14年6月(公開日数20日、述べ人数　合計635)

日	確認時間 17:00	18:00	19:00	合計
3	8	10	6	24
4	–	8	7	15
5	16	13	8	37
6	14	16	9	39
7	13	11	10	34
10	21	18	8	47
11	–	8	6	14
12	16	12	8	36
13	8	11	7	26
14	7	6	4	17
17	18	16	13	47
18	–	8	4	12
19	18	14	11	43
20	16	18	8	42
21	11	16	10	37
24	19	22	14	55
25	–	4	2	6
26	14	16	13	43
27	11	10	11	32
28	12	8	9	29
合計	222	245	168	635

平成14年7月(公開日数11日、述べ人数　合計442)

日	確認時間 17:00	18:00	19:00	合計
1	25	19	17	61
2	–	9	13	22
3	22	24	17	63
4	17	14	7	38
5	9	12	10	31
8	14	21	12	47
9	–	8	0	8
10	11	14	7	32
11	14	19	13	46
12	12	14	9	35
15	21	20	18	59
合計	145	174	123	442

平成13年度電子図書館システム利用状況

マルチメディア端末利用状況

場所		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
附属図書館本館	ログイン数	427	247	1,744	1,870	2,595	2,528	452	9,863
	端末1台当たりのログイン数	17.1	9.9	69.8	74.8	103.8	101.1	18.1	394.5
附属図書館生命科学分館	ログイン数		16	59	59	104	168	53	459
	端末1台当たりのログイン数		5.3	19.7	19.7	34.7	56.0	17.7	153.0
附属図書館吹田分館	ログイン数	2	11	69	71	66	135	31	385
	端末1台当たりのログイン数	0.7	3.7	23.0	23.7	22.0	45.0	10.3	128.3
合計	ログイン数	429	274	1,872	2,000	2,765	2,831	536	10,707
	端末1台当たりのログイン数	13.8	8.8	60.4	64.5	89.2	91.3	17.3	345.4

マルチメディア端末は、本館に 25台、生命科学分館に 3台、吹田分館に 3台設置してあります。
端末1台当たりのログイン数は、小数点2桁以下は切り捨てにしています。
本館は9/1-6まで運用し、10/23から運用を再開しました。
生命科学分館は10/18から運用を開始しています。
吹田分館は、9/1-6まで運用し、10/18から再開しています。
また、2002年3月は、12日から31日までドメイン分割設定作業のため休止していました。

衛星放送利用状況

番組	場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BBC World	本館	9	81	279	201	266	195	33	1,064
	生命	0	42	8	0	12	40	7	109
	吹田	0	37	12	2	6	2	0	59
	学内	41	29	17	14	54	28	4	187
合計		50	189	316	217	338	265	44	1,419

番組	場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
放送大学	本館					18	96	24	138
	生命					2	10	6	18
	吹田					1	0	6	7
	学内					14	14	9	37
合計						35	120	45	200

番組	場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
World Net	本館					1	8	63	72
	生命					0	6	9	15
	吹田					0	0	7	7
	学内					7	20	7	34
合計						8	34	86	128

番組	場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CCTV 中央電視台	本館					0	4	1	5
	生命					0	7	2	9
	吹田					0	0	1	1
	学内					3	0	4	7
合計						3	11	8	22

各番組は、ライセンス取得時期の違いによりサービス開始時期が異なります。
本館とは附属図書館本館のマルチメディア端末からのアクセス数で、9/1-6まで運用し、10/23から運用を再開しています。
生命とは附属図書館生命科学分館のマルチメディア端末からのアクセス数で、10/18から運用を開始しています。
吹田とは附属図書館吹田分館のマルチメディア端末からのアクセス数で、9/1-6まで運用し、10/18から再開しています。
学内とは、マルチメディア端末以外の学内の端末からのアクセス数です。

情報コンセント利用状況（ログイン数）

場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
附属図書館 本館	162	8	21	5	21	12	12	241
附属図書館 生命科学分館		17	24	5	3	11	3	63
附属図書館 吹田分館	7	3	0	0	0	0	0	10
合計	169	28	45	10	24	23	15	314

本館は9/1-6まで運用し、10/23から運用を再開しました。
生命科学分館は10/18から運用を開始しています。
吹田分館は、9/1-6まで運用し、10/18から再開しています。
2002年3月は、12日から31日までドメイン分割設定作業のため休止していました。
なお、テスト的な利用もカウントしてあります。

ディジタルコンテンツ利用状況

1.Web of Science (Science Citation Index Expended 1990- present)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
ログイン数	2,839	2,615	2,428	3,636	4,768	5,299	4,445	5,153	4,208	3,760	39,151
検索回数	14,507	13,533	10,156	16,012	13,517	19,218	19,829	21,649	14,848	16,226	159,495

2001年6月-8月はトライアルで、2001年9月から正式にスタートしました。

2.JSTORE (Arts & Science I Collection)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
検索回数	665	1,103	582	845	1,061	604	704	566	416	374	6,920
総アクセス数	3,119	7,302	5,436	3,351	3,903	2,834	2,390	3,098	2,407	1,893	35,733

2001年6月-8月はトライアルで、2001年9月正式にスタートしました。
検索回数はSearchの数、総アクセス数はブラウズや印刷などを含む全てのアクセス数です。

平成13年度 会議関係等日誌

・会議関係

4月26日 定例教授会
5月24日 定例教授会
6月 6日 第1回広報委員会
8日 第3回運営委員会
28日 定例教授会
29日 第1回マルチメディア教育委員会
7月26日 定例教授会
8月23日 第2回広報委員会
24日 広報委員会ワーキンググループ会議
9月10・11日 第25回国立大学情報処理教育センター協議会総会(九大)
27日 定例教授会
10月 4日 大型計算機利用大阪地区協議会総会
25日 定例教授会
11月13日 第3回広報委員会
14日 第51回全国共同利用大型計算機センター長会議センター長懇談会(京大)
22日 定例教授会
12月 4日 第4回運営委員会
13日 第4回ネットワーク運用管理委員会
14日 第1回附属図書館電子図書館システム専門委員会・ディジタルコンテンツ委員会合同委員会
27日 定例教授会
1月24日 定例教授会
21日 高性能計算機システム委員会
2月21日 第2回附属図書館電子図書館システム専門委員会・ディジタルコンテンツ委員会合同委員会
27日 マルチメディア教育委員会
28日 定例教授会
3月 8日 臨時教授会
28日 定例教授会

・大規模計算機システム運用関係

9月 1日 電子図書館システム 運用開始
3月25日 汎用計算機システム更新
31日 FAXサービス、BIOSISサービス等終了

・大規模計算機システム利用者講習会

5月14日 センター利用案内
スーパーコンピュータ利用入門
15日 画像処理入門1
17日 画像処理入門2
28日 SAS入門
29日 SPSS入門
31日 LS-DYNA3D
6月 1日 NASTRAN
4日 Fortran90高速化技法入門(ベクトル化編)
5日 Fortran90高速化技法入門(並列化編)
6月 7日 PSUITE入門
8日 SpaceFinder
7月 6日 Gaussian98
10月 9日 スーパーコンピュータSX-5利用入門
10日 Fortran90高速化技法入門(ベクトル化編)
11日 Fortran90高速化技法入門(並列化編)
17日 SpaceFinder
19日 LS-DYNA
24日 MSC.Nastran
29日 AVS画像処理入門
30日 Explorer画像処理入門
11月 7日 PUSUITE入門 (VAMPIR含む)
8日 Molstudio
13日 STRAEM

・情報教育用計算機システム講習会

5月18,23,25日 初心者向け講習会

・CALL講習会

対象者：言語文化部教官、CALL授業担当TA
内容：CALLの説明,授業支援システム説明,CALLソフト体験他
講師：サイバーメディアセンター教官,技官
第1回～第7回 2001.3月5日～3月27日
第8回～第12回 4月6日,4月12日,9月27日,10月1日,10月3日

・CALL教材作成説明会

対象者：言語文化部教官,CALL授業担当TA
内容：オリジナル教材紹介,マルチメディア教材作成環境説明,ノンリニア編集装置 (Quick Cutter) ,MPEG変換,Real変換
講師：マルチメディア言語教育研究部門教官
9月27日,10月1日,10月4日

・CALLソフトウェア体験会

対象者：言語文化部教官,CALL授業担当TA
内容：CALLで利用できる各種ソフトウェア体験
講師：サイバーメディアセンター教官,技官
3月1日,4日,6日

・CALLその他

講師:言語文化部教官
10月7日,1月13日 フランス語教育方法研究会

・いちょう祭CALL教室デモンストレーション

内容：各言語でのCALL模擬授業それぞれ30分間
講師：言語文化部及びサイバーメディアセンター教官
4月30日 英語、ドイツ語、フランス語

・まちかね祭 CALL 教室デモンストレーション
内容:各言語での CALL 模擬授業それぞれ 30 分間
講師:言語文化部及びサイバーメディアセンター教官
11 月 2 日　英語、ドイツ語、フランス語

・研究会等関係
11 月 19～21 日　研究開発連合発表講演会(国立情報学研究所)
3 月 11 日　情報処理教育研究会

・センター来訪者
(センター本館)

4 月 30 日・5 月 1 日	いちょう祭大学開放	
6 月 27 日	JICA 沖縄国際センター	13 名
7 月 12 日	徳島県立徳島北高校 PTA 女性部	44
17 日	防衛大学校	4
10 月 18 日	兵庫県立豊岡高校	39
11 月 6 日	兵庫県立伊丹北高校	36
6 日	タイ王国 Khon Kaen 大学	6
9 日	財団法人関西情報センター	10
2 月 6 日	JICA	13

(教育実習棟)

11 月 6 日	兵庫県立伊丹北高校	36

(CALL 施設)

4 月 30 日・5 月 1 日	いちょう祭大学開放	
5 月 25 日	大阪市立大学	3
6 月 22 日	「全私学新聞」取材協力	
7 月 5 日	大阪産業大学	4
5 日	大阪大学共通教育機構 OB	21
6 日	神戸親和女子大学	1
19 日	関西国際大学	5
9 月 20 日	甲南大学	7
10 月 15 日	松本歯科大学	2
11 月 2 日	まちかね祭にて公開	
5 日	福井医科大学,福井県立大学	2
6 日	兵庫県立伊丹北高校	18
3 月 15 日	山口大学	3
22 日	文京女子大学,千葉大学	7
27 日	岩手県立大学	7
28 日	北海道大学	2